

みんななかまさ!

〈 れいはいのプログラム 〉

- 1、しずかなこころ
- 2、みんなで歌ううた
- 3、みんなでいのる
- 4、みんなで読むせいしょ
- 5、みんなで歌ううた
- 6、みんなで聞くおはなし
- 7、みんなで歌うさんびか
- 8、けんきん
- 9、しずかなこころ

しかい：まつもと なつこ

♪「ピース -PEACE-」P. 30

主のいのり P. 92

ルカによる福音書第6章36-42節

♪「にしきたずっと節」P. 17

「あめあめ ふれふれ」かなざわ けいこ

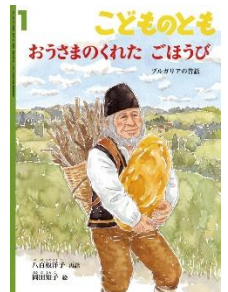
讃美歌332番♪「しゅはいのちを」P. 74

♪「いまそなえる」P. 92

〈今日の活動〉 弓矢であそぼう

〈 ほうこく 〉

21日(日)は、「がらがらどん」でした。絵本「おうさまのくれたごほうび ブルガリアの昔話」(再話:八百板 洋子、画:岡田 知子/福音館書店、2010年)を読んでもうしました。森でたきぎを拾っていたおじいさんが、川でおぼれている王さまを助けました。王さまは、おじいさんをお城に連れていき、お礼に大きな金の塊をくれました。金塊を抱えて、家に帰る途中、金塊を馬と交換します。次に出会った牛飼いは、馬を牛と交換。牛を羊に、とうとうついには、針と交換。でも、家に着く前に落としてしまいます。おばあさんは、なにも持って帰らなかったおじいさんに、無事であればそれでいい。と、とても幸せそうでした。金塊よりもずっと大切な気持ちを、2人はお互いに受け取ったのでしょね。



活動は、延期になっていた「クリーン作戦」でした。高学年は、園長先生たちと、駅前公園に遠征。低学年の子どもたちは、大くんと、園庭の溝掃除から。前日の雨が溜まっていて、泥水を、かき出しては捨てて、また戻ってきてかき出す。根気よく、作業をしてくれました。おやつは、暑かったね。と、園長先生がかき氷をしてくださしました。梅味がいいか、かりん味にするか悩むみんな。とっても、可愛い。

〈 こどもといのる 〉

もうすぐ、みんなが楽しみにしている「ほしまつり」です。大竹を立て、空を見上げ、願い事を書いた短冊を飾り、みんなで笑い、食べて、遊ぶ。そんな時間が今年も迎えられることを嬉しく思います。

(かなざわ けいこ)

〈 おしらせ 〉

◇7月4日(土)は、「ほしまつり」です。あそびにくる人、お店を手伝ってくれるひと。色んな人たちが集まって、たのしいひと時になりますように。小学5年生以上の人たち、お手伝いを募ります。希望の人は、事務所まで声をかけてください。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、45271枚から 32枚 集まりました。合計 **45303枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年6月21日(日)





なる神が慈悲深いように、あなたがたも慈悲深い者となれ。三〇人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。また人を罪に定めるな。そうすれば、自分も罪に定められることがないであろう。ゆるしてやれ。そうすれば、自分もゆるされるであろう。三一与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう。あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから」。

三二イエスはまた一つの譬を語られた、「盲人は盲人の手引ができようか。ふたりとも穴に落ち込まないだろうか。四〇弟子はその師以上のものではないが、修業をつめば、みなその師のようになろう。四一なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。四二自分の目にある梁は見ないでいて、どうして兄弟にむかって、兄弟よ、あなたの目にあるちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい、そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるちりを取りのけることができるだろう。